

審 議 経 過 （会議録）

1 開会（9：55）

(1) 会長挨拶

(2) 事務局説明

① 委員11名のうち9名出席で過半数に達していることから、川口市立科学館運営審議会条例第7条第2項の規程により本審議会が成立している旨、事務局より報告。

② 審議会公開のため、傍聴人を募集したところ申込者がいなかった旨、事務局より報告。

③ 事務局より配布資料の確認。

(3) 協議事項

① 議事録署名人の選任

議事録署名人の選任について事務局より説明。

議事録署名人を慣例により名簿順とし、今回は永瀬委員と金子委員が選出、承認された。

2 議題

（議事進行：川口市立科学館運営審議会条例第7条第1項の規定により議長（会長）の進行とする。）

(1) 令和6年度事業の報告について

○議長

議題(1) 令和6年度事業の報告について、事務局の説明を求める。

○事務局

資料2～資料4に基づき事務局から説明。

以上議題(1)について事務局からの説明があった。

議長より事務局の説明において、質問等があるかとの問いに以下質問と回答がなされた。

○委員

入館者数の増減について、前年度同期比で入館者数は97%、年間券発売状況は86%とのことだが、心当たりの原因はあるのか。

○事務局

様々な要因はあると思うが、科学館全体として、科学展示室の入館者数は若干増えている一方、プラネタリウムが若干苦戦をしている。プラネタリウムは年度4回番組を更新しており、番組が来館者の興味を引くか、そうでもないのか、ということがあったと思う。

また、SNSや民間のお子様向けのお出かけ情報サイトに掲載していただける機会が増えており、来館者の年齢層が以前より少し低くなってきていると思う。そのため、科学展示室に来ていただいている方が、そのままプラネタリウムを観覧する構図が出来ていない。プラネタリウムも夏休みには3回観覧したら缶バッジをプレゼントという企画も実施しており、また、市内中学校の吹奏楽部や科学部にご案内を出すなど来館していただけるよう工夫を凝らしている。今後もそういうところに力を入れていきたいと考えている。

○委員

科学展示室は昨年度より多くの方が来館され、プラネタリウムの方が減り、全体としては、若干2千人位減った状況だと思う。それほど深刻ではないにしても、入館者の動静について、細かく分析しておくのは館の運営上、有意義と思う。

○委員

かなり充実していろいろな事業をやっていると思う。審議委員として情報を得ている我々はよく分かる。隅々まで周知できるといいと思う。

(2) 令和7年度事業予定について

○議長

議題(2) 令和7年度事業予定について事務局の説明を求める。

○事務局

資料5等に基づき、管理及び科学展示室の事業について事務局から説明。

以上、議題(2)の前半について事務局からの説明があった。

議長より事務局の説明において、質問等があるかとの問いに以下の意見があった。

○委員

2つ目の検討中の中高生向けの講座の充実について、部活動が地域移行になるため、科学部も当然学校で部活動ができなくなる。是非、科学館を中心とした川口市科学クラブというものができ、興味関心の高い子が集まり、一緒に研究や活動ができる、そんな場を提供すると中高生が科学館に足を運ぶ機会が増えることになる。来年度、再来年度に移行が始まるので、準備してもよいと思う。

○委員

3月8日に行う「ふらっとかがく」とは、どのようなものか。

○事務局

「ふらっとかがく」の実施内容としては、1の特別サイエンスショーと同様に、科学展示室の入場料を免除し、ワークショップとして宝石・鉱石を扱い、種類分けし、どのようなでき方をしているか、どのような特徴があるのか、について、学校では扱わないところに触れながら、科学に興味関心、親しみを持ってもらう。分類したものはお土産として持ち帰ってもらい、また科学館に来てもらうきっかけとなるような講座を開ければと思っている。中高生の足が向きづらいという現状を、できるだけ来やすいように環境を整え、中高生に興味がある分野で声掛けができればと考えている。

○議長

議題(2) 令和7年度事業予定の後半について事務局の説明を求める。

資料5等に基づき、天文事業及びプラネタリウム事業について事務局から説明。

以上、議題(2)の後半について事務局からの説明があった。

議長より事務局の説明において、質問等があるかとの問いに以下の意見があった。

○委員

おもいやりプラネタリウムの案は大変良いと思っているが、なぜ寒い2月に実施するのか。

○事務局

事業の実施時期については、他館等の実施事例を年度の前半で調査していたため、年度の後半で設定となった。年度の後半で広報等が行き渡ることを考慮し、他の事業との兼ね合い、空いている時期ということで、2月となったものである。実施時期に関しても、今年度行ってみて反省点があれば、次年度以降に活かしていきたいと考えている。

○委員

川口市立高校はSSH（スーパーサイエンスハイスクール）として、文部科学省の指定を受け、科学を推進する高等学校となっている。隣同士であり、天文の授業を支え、川口の科学の推進・発展を科学館が支えていることを嬉しく思っている。引き続き、力を貸して欲しいと思う。

○委員

科学館でライブ配信を行ったのは、2022年11月8日の皆既月食が初めてか。

○事務局

初めてではない。特別観望会に合わせて実施しているときもあるが、それ以外に天文現象が

ある場合には観望会を伴わないものときもライブ配信を行っている。

○委員

統計的に1万7千は記録的だったのか。

○事務局

その通りで、かなり多い。それを超えるのは、部分日食があったときだと記憶している。月食に関して一番多いが、それを上回るのは日食のような特に珍しい天文現象のときだろう。

(3) その他について

○議長

議題(3)その他について事務局から何かあるか。

○事務局

今年度、スキップシティA1棟で7月下旬から1月下旬にかけて行われていた外壁改修工事について、事務局から説明。

○議長

これで議事が終了したので議長の任を降り、進行を事務局に戻す。

3 閉会（10：45） 副会長挨拶

4 特別展示視察（10：55～11：25）

5 終了